

11. ボストン福島シャトル便



2 か月ぶりになりました。前回のシャトル便で、にぎやかな基礎上級の様子が伝わってきました。

前回はメリハリある生活をすることを目標にしましたが、あいにく研究検討会と学会での発表、それに JICA 草の根事業の 3 年間の総まとめの作業などが重なってしまい、日々の生活では目標達成にはなりませんでした。コンピューターにしがみつきました。ただし、子どもの「2 月休み」を利用して、フロリダのディズニーワールドに行ったので、2 か月間全体では目標達成したかなと思っています。

さて、今回のテーマは Inference 推測です。

問題 1.

Inference がテーマの
子どもの学校の宿題です。

1

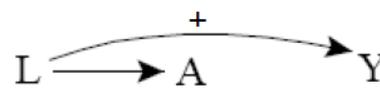
Splat! "Oh, rats!" thought Katie as she stooped to clean up the mess. "I hope we have another one." She looked in the fridge and pulled out the carton. One left! Breakfast wasn't ruined after all.

What did Katie clean up?

How do you know?

問題 2.

同様に Inference がテーマの、
DAG (Directed Acyclic Graph)
についての疫学の講義から問題です。
カッコ内の単語のどちらが
あてはまるでしょうか。



A – Alcohol
Y – Coronary heart disease
L – doughnut consumption

When the confounder is:

- negatively associated with exposure
- positively associated with outcome

bias is in (upward or downward) direction.

問題1は、おそらく朝食にシリアルを食べていた時に、牛乳をこぼしたと推測できるのですが、朝はシリアルを食べるものだというアメリカの生活習慣に馴染みがない我が家の息子は全く違う推測をしました。

問題2は、近年よく使われるようになってきている DAG について学ぶ講義の資料で、回答は downward ですが、私はこの図示の仕方に慣れていなく、何年も実際の研究で考えてきた交絡のことははずなのに、理解するのに時間がかかりました。

子どもはこの宿題はどうも消化不良だったようで、私も DAG は十分に理解していません。こちらでの共同研究者との英語でのディスカッションでも、相手が真に意図するところをどこまで読み取れているのかは不明です。

留学半年経過しての課題は、Understanding context（文脈の理解）です。



ボストンで電車を待つ間に
子どもの帽子についた雪の結晶



寒いボストンからフロリダに
動物園が目の前にあるホテルの窓から